

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	成田市こども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	120	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和7年12月2日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子で通所することで、お子様への関わり方を検討しながら、家庭と、療育の場との連携が比較的容易に行うことができます。	その日の療育のねらいを掲示し、意図的にかかわりを持てるように、意識して取り組んでいます。	保護者様と療育についての話し合いを持つことで、不安解消に努めます。
2	必要性の応じて、常勤の専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)のほか、医師・歯科医師・歯科衛生士・心理士相談や、音楽療法士・水療育の療育を受けることができます。	指導が療育に生かせるよう、共有を図っています。	小集団療育の場にも、専門職が随時参加し、助言を実施しております。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子通園のため、希望しても利用が困難な場合があります。	保護者の就労状況などで通所を希望してもできないことがあります。家族形態の変化や就労状況の変化に要因があるかと考えます。	個別相談や、保育園等訪問支援を充実させてまいります。
2			
3			